

令和7年度 事業報告

営農事業



特別栽培米の
作付け拡大

特別栽培米比率
42.6%
(11万1,507袋)



米の複数年出荷契約
の導入

複数年契約による出荷

2万8,221袋



施設園芸の
導入推進

園芸品目の周年出荷実現に
向けたハウス施工



8件



労働力支援

大学生による
農産物収穫支援



8件



スマート農業
導入促進

ICT技術新規導入

10名

RTK基地局

設置



J A たじま青壮年部
の活性化

但馬全域で青壮年部の活動を
拡大

新規会員

10名



たじままま
出荷者の増大

新規出荷者



60名



消費者の声を活かした
店づくりの促進

利用者モニターアンケート



41名



「地産地消協力店」
認定制度の促進

地産地消協力店舗

20店舗



生物多様性の保全と温室効果ガス
を抑制する農業の促進

みえるらべる新規認定

1品目

年度末時点認定

3品目

支援実績 (助成等)



営農経営継続への
支援

出荷用紙袋・フレコン費用還元

1,512万円

予約注文による特別割引

8,395万円



担い手農家支援

水稻育苗利用還元

1,122万円



CE・RC利用還元

1,526万円



肥料・農薬費用還元

1,404万円



生産振興

ハウス購入費用還元

163万円



灌水装置購入費用還元

121万円



資材店舗での購入金額
に応じたポイント還元

318万円



直売所活性化

たじまままでの購入金額に
応じたポイント還元

609万円



肉の店での購入金額に
応じたポイント還元

43万円



第3回営農振興大会の開催

但馬の農業が目指す方向性を共有するとともに生産者同士やJAとの一体感の醸成につとめました。



コウノトリ放鳥・生産部会設立20周年

節目の年に合わせて、コウノトリ育むお米生産者大会を開催し、コウノトリ育む農法の意義や生きものを育む理念について再確認するなど、生産者の意識統一を図りました。



最低保証価格早期提示と複数年契約導入

生産者に安心して作付け・出荷していただくため、一部品種において概算金の最低保証価格を5月に提示しました。また、生産者の安定的な所得確保のため、コウノトリ育むお米、ふるさと但馬米において複数年出荷契約を導入しました。

令和7年度米 概算金最低保証価格を組合員の皆様へ提示しました。JA全農に申し込まれました。

組合員の皆様へ
コウノトリ育むお米生産者の皆様へ
令和7年度米 概算金最低保証価格の決定と複数年契約のお知らせ

ふるさと但馬米生産者の皆様へ
令和7年度米 概算金最低保証価格の決定と複数年契約のお知らせ

JA全農は、令和7年度ふるさと但馬米の「概算金最低保証価格の決定」とおよび「複数年契約(3年間)の取組」により、皆様安心して作付けをしていただける環境整備を行いました。



みかた広域ライスセンター完成

浜坂ライスセンターを「みかた広域共同乾燥調製施設」として改修・リニューアルし、美方郡内における乾燥調製の拠点として再編しました。



「コウノトリ育むお米パックご飯」が高い評価を獲得

山陰海岸ジオパーク推進協議会より「ジオの逸品(防災食品部門)」に認定されたほか、「第94回ジャパン・フード・セレクション(食品・飲料部門)」において最高賞であるグランプリを受賞しました。



たじまピーマン販売高 過去最高更新

たじまピーマンの振興を図るため、定植本数を11万7,076本まで拡大し、販売高は2億6,416万円といずれも過去最高となりました。



「組合員アプリ」導入

組合員専用の「組合員情報提供サービスアプリ」の導入準備を進めました。令和8年度からアプリの普及と防除情報などの情報発信を開始します。



ご利用を希望される方はこちらのQRコードを読み取り仮登録からお手続きください。※登録には組合員コードが必要となります。

たじまの最新情報を各種SNSで配信中!



畜産事業



販路拡張による購買者の誘致

令和7年但馬家畜市場子牛平均価格（税込）

市場全体
101万2,307円
(全国2位)

但馬管内生産牛のみ
102万8,519円



特別価格での飼料供給

越冬用乾燥牧草供給高

4,985万円



支援実績 (助成等)



畜産経営継続への支援

予約注文による
特別割引
(越冬用乾燥牧草)

462万円



経営支援 遺伝的多様性確保

畜産飼料大口奨励

371万円

熊波系・城崎系保留支援

100万円



家畜伝染病対策

消毒液無償配布

22万円



年間子牛平均価格100万円超え

令和7年（1月から12月）の但馬家畜市場において、子牛平均価格が年間で100万円を超えるなど、全国でも最高水準の評価を受けました。



兵庫県畜産共進会JAたじま団体優勝

第107回兵庫県畜産共進会が兵庫県立播磨中央公園で開催され、種牛の部においては、上位5頭を但馬勢が独占するなど優秀な成績を収め、JAたじまは12年連続の団体優勝となりました。



介護福祉事業

くらしに安心を与える福祉事業

利用者の日常生活機能の維持・向上を目指す「自立支援型サービス」の提供に向け、運営革新プロジェクトを立ち上げて検討するとともに、豊岡介護センターを「いなほの里」施設内に移転するなど、一体化運営できる体制整備を進めました。



LPガス事業

安心で環境にやさしいLPガス事業

ガス器具の展示販売会を16会場でのべ19日間開催し、多くの方に最新ガス器具の利便性や安全性を提案・周知しました。

旅行事業

多様なニーズに応える旅行事業

JAの次世代ファンづくりの取り組みとして、日本航空、行政と連携して小学生を対象とした旅行を実施しました。



信用・共済 事業

投資信託 iDeCo の普及拡大

純増件数
291件



低利な農業融資の提供

アグリマイティー資金
貸出実績
5億936万円



住宅ローンの提供

住宅ローン貸出実績
23億4,528万円



小口ローンの提供



マイカー・教育・フリーローン貸出実績
10億8,228万円



共済金のお支払い

長期共済 **130億9,084万円**

短期共済 **12億9,809万円**

各種研修会・セミナーの開催

女性のための資産運用セミナー・相談会
相続相談セミナー・相談会
高校生向け金融教室

全5回

スマイルナビ（タブレット端末）導入

窓口サービス向上のため、伝票記入が不要となるタブレット端末「スマイルナビ」を支店窓口を設置しました。



交通安全教室の開催

地域の交通安全啓発を目的に、但馬管内の学校で自転車交通安全教室を2回実施しました。
(香住第一中学校、村岡高等学校)



広報


米作りや流通について広報誌に掲載

地域住民に米の生産現場の正しい情報を伝えるため、生産や流通にかかる費用について学ぶ特集を広報紙に掲載しました。
(リレーション+1月号掲載)




JAへの理解を深める広報の実施

全支店にデジタルサイネージを設置し、利用者に向けて情報発信を行いました。
(設置支店 22支店)



SNSを活用した情報発信

幅広い世代に親しまれるよう、SNSを活用した発信に取り組みました。




組織活動

地域ふれあい活動 地域貢献活動

食農教育活動
清掃ボランティア
健康増進活動

282件

食と農の活動を通じた 次世代層ファンづくり

ママ友クラブの開催

15回



254名

食と農の活動を通じた 次世代層ファンづくり

あぐりキッズスクールの開催
全7回

八鹿会場

30名



支援実績 (助成等)

生活文化活動支援

女性会活動等支援

334万円

健康管理支援

町ぐるみ健診費用支援

194万円



組合員活動支援

地域ふれあい活動等支援
(地域貢献活動)
(地域活性化活動)

889万円

ちゃぐりんフェスタの開催

J A たじま発足30周年を記念して、『ちゃぐりん』を活用した親子参加型のイベント「ちゃぐりんフェスタ」を開き、連載中の有名タレントを招いた食農教育活動を実施しました。



「ママ友クラブ」の開催

未就学児とその保護者を対象とした「ママ友クラブ」を開催し、調理体験などを通じて、新たなJ A ファンづくりに取り組みました。



他組織 連携

○J J エリアセンター但馬

但馬の農業の魅力発信や将来的な労働力支援にもつながるよう、国内外の方を対象とした収穫体験ツアーや援農ボランティアツアーを実施しました。企画ツアー計41本 880名参加



○芸術文化観光専門職大学

地元大学生に但馬の農業に興味をもってもらうため、生産者との交流の場づくりとして、たじまピーマンや朝倉さんしょの収穫アルバイトを企画しました。計6回 33名参加



経営

支店・営農生活センターの一体化運営を新たに5支店で開始

組合員・利用者の多様なニーズに対応し利便性を向上させるため、5つの支店・営農生活センターについて、支店長が全体を統括する一体化運営を開始しました。

※令和6年度一体化支店：但東・香住・朝来・山東

※令和7年度一体化支店：日高・出石・村岡・温泉・浜坂

※令和8年度一体化支店：豊岡南・八鹿・和田山